

令和3年度			
講習の区分	<選択領域講習>受講者が任意に選択して受講する領域	講習時間数	6 時間
講習の名称	【選択】小学校の学習指導Ⅱ	講習形態	講義・実技・演習 (遠隔授業)
開設者	長崎大学	定員	50名
開設日/時間	令和3年6月19日(土) / 8:55~16:30	会場	インターネットを受信できる場所 (職場もしくは自宅など)
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小学校 教諭
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL	担当教員(分担担当者等)		
針貝 綾(人文社会科学域) / Eメールアドレス:kyoumen@ml.nagasaki-u.ac.jp / TEL:095-819-2872	瀧下 哲哉(長崎県教育庁)		
講習のねらい/講習方法/講習到達目標	講習のねらい/講習方法/講習到達目標		
◆講習のねらい:			
【図画工作科】なぜ子どもは絵を描くのか、子どもは絵に何を描くのか、子どもにとっての図画工作の意義と、指導する際に気を付けるべきことについて考える。			
【社会科】教育内容の学問的背景や教授方法の専門的知見に関する最新の内容を習得する。またこれらのことを通して、教科の学習指導に関わる現代的課題の解決能力の向上を図る。			
◆講習方法:			
【図画工作科】3時間の講義(簡単な実技を含む)を行う。最後に講習内容に関する15分程度の筆記試験を行う。			
【社会科】3時間の講習(演習を含む)を行う。また、随時講習内容に関する質問を受け付ける。さらに講習内容に関わって10~15分間程度の筆記試験を行う。			
◆講習到達目標:			
【図画工作科】教科の学問的背景を理解し、図画工作科の授業を通して育むべき子どもの資質・能力について説明することができる。表現の授業の際に注意すべき点や表現技法について説明できる。			
【社会科】			
・教育内容の学問的背景や教授方法の専門的知見に関する最新の内容を理解し、説明することができる。			
・具体的な教授・学習場面を想定しながらその有効性等について理解し、説明することができる。			
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード	講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード		
◆講習内容(概要)			
【図画工作科】ローエンフェルドの『子どもの絵』など美術教育の先駆者たちの言説を読み直し、簡単な作画を行いながら、子どもにとっての図画工作の意義や指導法について考える。また、シュールレアリズム絵画を鑑賞し、美術と精神分析との関係や、図画工作に用いられている表現技法について再考する。			
【社会科】現代的教育課題の解決に資することを目的として、新学習指導要領の動向も視野に入れつつ新たな知見を紹介します。具体的には、児童の基礎学力の向上と問題解決能力の育成といった教育現場の課題解決に向けて、教科の目標と内容及び教授方法に関する最新の知識技能について講義・演習を行います。また、受講者の実践上の課題にも対応しながら、小学校における学習指導のさらなる充実を図ります。			
◆講習計画・内容			
	内容等	時間	担当教員
	オリエンテーション	8:55~9:00	針貝 綾
	図画工作科の学習指導について 筆記試験10~15分(休憩20分含む)	9:00~12:20	針貝 綾
	昼休憩	12:20~13:10	
	社会科の学習指導について 筆記試験10~15分(休憩20分含む)	13:10~16:30	瀧下 哲哉
◆キーワード 小学校、教科教育(図画工作科、社会科)、学習指導、教育内容、教授方法			
成績評価の方法	【図画工作科】課題への取り組みや、試験の成績等から総合的に判断します。 【社会科】試験の成績や講習中の取り組み等から総合的に判断します。		
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。		
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。		
教科書・教材・参考書	指定図書はありません。当日、資料の配布等を行います。		
各自で準備するもの	【図画工作科】色鉛筆。 【社会科】特になし。		
受講上の注意	1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 2. 遅刻は原則として認めません。		